海外クルーズ客船おもてなし事業

区分継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野	
事業主体	県				自治事	務	■実行予算	事業 H28 年度	事業終了		
事業実施方法	委託			事務		事業区分	口補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率				<i> " </i>	法定受託	事務	□ その他	年度 6 年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 政 策	2 成長を創8 拡大する	る(産業力) 世界市場をふくいの	成長へ〕	関連する	県の計画等	()	
[解決すべき問題・課題		•	<u> </u>				•				
海外クルーズ客船を	受け入れる地区	区が保安区域とな	なるため、港湾管	理者として必	要な警備等	を行う必要が	ある。				
[事業目的]											
海外クルーズ客船の	受け入れ態勢を	を整える									
[事業内容]											
クルーズ船寄港時対 ・観光客の安全確 ・保安区域内にお ・一般観光客の受	保のため岸壁にいてバス、タク付業務を行う。	フシーの誘導を行		設置する。							
[受益者] クルーズ船	出乗船客 				[想定され	ん る 受益者数]	2,500人				
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事 (実績)	業名				業の有無・ 割分担	■ 無 □ 有 ⁻ (役割分担)	事業名			
市町との連携状況					他県	の状況	wifi設例 警備員配 石川県 クルース wifi設例	ヾ船受け入れのための施設整値 構整備済 ℃置、バリケード設置 ヾ船受け入れのための施設整値			

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	紹	費区分	政策	的経費	要求	基準	内	i	部局名		土木部		課名		港湾	空港課		課長名	高野	政志
事業主	上体	県						± 25	■ 自	治 事	務		■実	行予算	事業		H28	年度			
事業実施	拖方法	委託						事務区分				事業区分	口補	助金	開始	1 糸	圣過年数	Ż	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	0							口法	定受託	事 務		□ そ	の他	年度		6	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ī	起	!債	そ(の他		一般	財源				国庫、	、その他	也財源の	の名称等		
予算額		6, 1	239									6, 239									
[予算額の推	移等]																			(単位	: 千円)
	区	3	}		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3年度					令和3	年度予	5 算額	の増減	理由			
₩	首初 予 算	額の	推移		980	2, 328	2, 337	11, 249	6, 23	39											
2 月	現計予	算 額	の推移	§	980	2, 328	2, 337														
	決 算 額	の推	移		979	2, 328	2, 237														
主な増減 上の 上の では では では では では では では では では では では では では	蚁 埋田	文八回	X 0 7 1 1	(NT . 1)El	→ R2 : 4	* II)															
	区	ź	\		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3年度	中間	目標	最終目標			目	標・	指標の考	きえ方	• 積算根拠		
成果指標	海外クルー	-ズ船寄	港回数	(目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(4) 0	(2)													
活動指標	警備員配置	置人数		(目標) 実績	(20)	(20) 20	(20)	(20)													
[事業の評価	i]	<u> </u>	· ф о ф	/ ±					+:+ ^:	いった中	o ± =	∓ ⊢					7	⊢ ** =:: 1	Iт		
		削年	度の実	植				実績を踏	まえた令	和3年度	の変見	<u> </u>						業評			
														拡	充		縮減		終期の見直し	見直	し額
														継	続		休止		完了		
] 整理	統合		廃止		その他		

敦賀港将来計画策定事業(港湾計画改訂)

区分	継続		経費区分	}	政策的経費	要求基準	内		部	局名		土木部		課名	港	擠空港課		課長名	高野	政志
事業主	体	県					± 24		自	治 事	務			実行予算	事業	R1	年度	事業終了		
事業実施	方法	委	託				事務区分					事業区分		補 助 金	開始	経過年数	ţ	予定年度 (見直し年	R3	年度
補助率	荃								法 定	受託	事 務			その他	年度	3	年	度)		
福井県長期と		3	分 野	[3 楽しみを原	なげる (創造力))	F	明油する	は旧の	計画等	r						ו	
における位	置付け	ī	改 策	[9 100年1	こ一度のまちづくり)	Į.	利廷り つ	υ π.υ.	加四寺	\ \						ر	
「舩油オズキ目	明明。 细眼	i T																		

[解決すべき問題・課題]

港湾計画は、港湾法に基づく法定計画であり、概ね15年程度の将来を目標年次として、港湾の能力、施設規模・配置、港湾の土地利用の方針を定める必要がある。

[事業目的]

港湾法に基づき港湾計画を改訂し、港の発展の基礎とする。

[事業内容]

- ○港湾法に基づく法定計画である港湾計画の改定に必要な調査を行う。
- 将来計画策定
 - ・長期構想(20~30年の活用方針)
 - 港湾計画(10~15年の整備計画)

分析・調査

- 静穏度分析
- 航行安全調査
- ・環境アセスメント 現況調査 (秋季・冬季) シミュレーション

【受益者】		[想定される受益者数]	
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 敦賀港港湾計画調査事業 (実績) 平成17年までに港湾計画の改訂を行うため、土地造成および土地利用計画の見直しや配置計画の再検討を実施 [予算額] 平成15年 89,000千円(一般17,000千円 公共72,000千円) 平成16年 120,000千円(一般42,000千円 公共78,000千円)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	秋田港 平成30年7月改訂 新潟港 平成27年3月改訂 舞鶴港 平成25年12月改訂

敦賀港将来計画策定事業(港湾計画改訂)

区分	継続	紹	費区分	政策	货的 経費	要求	基準	内		部局名		土木部		果名	港	湾空港課		課長名	高野	政志
事業主	E体	県								1 治	事 務		■ 実行	于 予算	事業	R1	年度			
事業実施	方法	委託						事務区分				事業区分	口補	助 金	開始	経過年数	汝	予定年度 (見直し年	R3	年度
補助	率	0						_ <i>_</i>		法定受討	壬事 務		ロそ	の他	年度	3	年	度)		
区分	事	業費		国原	車	赶	2債	そ(の他		一般	財源			国	庫、その	也財源の	の名称等		
予算額		64,	400									64, 400								
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	ź	' }		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	度				令和3年	度予算	算額の増減	理由			
当	前初 予 算	額の	推移				52, 128	87, 418	64,	400										
2 月	現計 予	算 額	の推移				52, 128													
	決 算 額	の推	——— 移				52, 128													
前年度ま 主な増減 直 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	越理由																			
	区		}		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3年	使 山間	間目標	最終目標			日煙	・ 指標の	とえ方	 • 積算根拠		
成果指標			•	(目標) 実績		00 112	17/10/01/12	2 1/2	0 17	2 11	-111	42.17 II 178		を目途に言			.37273	IX 97 IX IX		
	準備会、勢	5員会の	開催	(目標) 実績			(3)	(3)												
[事業の評価	i]	北 石	中の中は	ŧ				中値ナ财	+ = + ./	△和った	庄 介本	市上				,	事₩===1	=		
		削円	度の実績	<u> </u>				実績を踏	まんに	可削る平	及の変	火 品					事業評価			
														拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
													•	継続		休止		完了		
														整理統	合 口	廃止		その他		

敦賀港内航利用拡大事業

区分新	見 経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木	ß	課名	港	湾空港課		課長名	高野	政志
事業主体 事業実施方法	県 委託			事務区分		自 治 事	務 事 第 区 分		実行予算補 助 金	事業 開始	R3 経過年数	年度	事業終了予定年度	R6	年度
補助率	1/2					法定受託事	務		その他	年度	1	年	(見直し年 度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 政 策		なげる (創造力) こ一度のまちづくり]]	関連する	県の計画等	()	

[解決すべき問題・課題]

新規貨物を獲得していくためには、物流ルートの転換が必要であるが、運送業者等にとって手間やコストがかかるため現状では、物流ルートを転換するのは難しい。

[事業目的]

既に定着した貨物ルートをもつ荷主および物流事業者に対して、試験的に敦賀港の利用を検討してもらうため、経費の一部を支援することで敦賀港を実際に利用してもらい、継続的な利用転換につなげたい。

[事業内容]

〇補助対象者

荷主企業・物流事業者

- 〇補助条件
 - 敦賀港を利用した新たな物流ルート
 - ・敦賀港の内貿(コンテナ船/RORO線/フェリー定期航路)の利用貨物
 - ・敦賀港の利用により物流面の改善効果・機能向上が見込まれること
- ・トライアルに関するデータ提供・効果検証や敦賀港PRへの協力
- ・過去に本事業における補助実績がないこと
- 〇補助対象経費

海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料、梱包料、その他経費等

- 〇補助率
- 1/2
- 〇補助上限額
- 200千円

[受益者]		[想定される受益者数]	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 敦賀港コンテナ物流トライアル事業 (役割分担) 外貿コンテナ貨物を対象に実施(企業誘致課)
市町との連携状況		他県の状況	伏木富山港(外貿) 博多港(内貿·外貿) 鹿児島港(外貿) 秋田港(外貿)

敦賀港内航利用拡大事業

区分	新規	経費	区分 政策	헌的経費	要求	基準	内		部局名		土木部	į	課名	Ä	巻湾空 港	巷課	討	果長名	高野	政志
事業主	E体	県							治 事	務		口 実	行予算	事業	R	3 年		業終了		
事業実施	方法	委託					事 務区分				事業区分	■補	助金	開始	経過	年数		定年度 見直し年	R6	年度
補助	率	1/2						口法	定受託	事 務		□ そ	の他	年度	1	1 :		度)		
区分	事	業費	国厂	ŧ .	起	2債	そ(の他		一般	財源			玉	庫、そ	の他財	源の名称	尔等		
予算額		2, 000									2, 000									
[予算額の推	移等]																		(単位:	: 千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3年					令和3	年度予算	算額の均	曽減理由	±			
<u> </u>	前初 予 算	額の推	移					2,	000											
2 月	現計予	算額の	推移																	
	決 算 額	の推移																		
前年度ま 主な増減 	越理由																			
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3年	使 中間	目標	最終目標			目標	₹・指標	の考え	方・積算	草根拠		
成果指標			(目標) 実績									R3年度	を目途に	:計画策)	定					
	準備会、委	養員会の開作	催 ^(目標) 実績			(3)	(3)													
[事業の評価	i]	並左由	の宝繕				宇 縷士.咏	士 ラナー	3和3年度	小 亦	百占					声 樂	·≡亚/≖			
		削平度	の実績				美領を 始	まえだ。	和3年度	の変	史品					事業				
													拡き	₹ □	縮	減	□ 終期	の見直し	見直	し額
													継糸	売] 休	止		完了		
														1		1				

小型ジェット機による福井空港利活用促進事業

区分	新規	経費	費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		土木部		課名	港	湾空港課		課長名	高野	政志
事業主体	本	県				± 24		自 治 事	務			実行予算	事業	R3	年度	事業終了		
事業実施ス	方法	補助金	、直営			事務区分				爭 業 区 分		補 助 金	開始	経過年数	Į	予定年度 (見直し年	R5	年度
補助率						E //		法定受託事	務			その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ビ	ジョン	分	野	(3楽しみを)	なげる (創造力)]	関連する	ョル≒	计画体	r						ו	
における位置	置付け	政	策	9 100年	こ一度のまちづくり]		宗の:	1四寸	`						J	
[解決すべき問	問題・課題]											_						

福井空港の利活用促進

[事業目的]

新型コロナの感染症対策として、人との接触機会の少ない移動手段が求められている。一方コロナ禍により、航空需要が落ち込み、多くの航路で定期便が運航休止となっている。このため、空港 到着後、待ち時間なく搭乗でき、国内ほぼすべての空港に直接運航できる小型ジェット機を活用して産業活動や観光(インバウンド)などの活性化を図るとともに、福井空港の利活用をつなげ る。

[事業内容]

- 〇ビジネスでの活用
- 県内企業が福井空港で小型ジェット機を利用する場合の経費を支援(回送費用:定額、運航費用1/2)
- ○観光での活用

外国人観光客が国内の移動手段として小型ジェット機を利用し、福井空港に着陸する場合の経費を支援(定額900千円/回)

○婚活での活用

婚活イベント等で知り合った男女のペアを対象に遊覧飛行を実施し、思い出づくりによりカップル誕生を促し、結構に結びつける(毎月運航)

[受益者]		[想定される受益者数]	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無■ 有 事業名 敦賀港コンテナ物流トライアル事業 (役割分担)外貿コンテナ貨物を対象に実施(企業誘致課)
市町との連携状況		他県の状況	伏木富山港(外貿) 博多港(内貿・外貿) 鹿児島港(外貿) 秋田港(外貿)

小型ジェット機による福井空港利活用促進事業

区分	新規	経費	区分 政策	헌的経費	要求	基準	内		部局名	3	土木部	部	果名	港	湾空港課		課長名	高野	政志
事業三	主体	県							自 治	事 務		■ 実行	予算	事業	R3	年度	事業終了		
事業実施	 拖方法	補助金、	直営				事務区分				事業区分	■補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R5	年度
補助	率	0							法定受	託事務		ロそ	の他	年度	1	年	度)		
区分	事	 業費	国原	<u> </u>	起	2債	そ(の他		一般	財源			国原	- 車、その他	財源の	 名称等		
予算額		14, 886							120		14, 766	諸収入							
[予算額の推	[移等]																	(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年	度				令和3年	F度予算	額の増減理	里由			
뇔	首初 予 算	額の推	 移					14	, 886										
2 月] 現 計 予	算額の	 推 移																
	決 算 額	の推移																	
前年度 ā 主な増減 [成果指標等	或理由																		
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年	度中	間目標	最終目標			目標	指標の考	え方・	 積算根拠		
成果指標			(目標) 実績						(21)			ビジネス 観光利用 婚活利用	3[
活動指標			(目標) 実績																
[事業の評価			入恨																
	5]	44 fr st						/	A 7						+				
	6]	前年度					実績を踏	まえた	令和3年	手度の変	更点					業評価			
	<u>[</u>	前年度					実績を踏	まえた	令和3年	手度の変 り	更点		拡充		事縮減		終期の見直し	見直	し額
	<u>5]</u>	前年度					実績を踏	まえた	令和3年	手度の変	更点		拡充継続				終期の見直し	見直	し額

空港振興委託事業(スカイフェス)

区分継続	経費区分	 政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名				課長名	 高野	
事業主体	県		•			自 治 事	務		実行予算	事業	H4	年度	事業終了		
事業実施方法	負担金			事務区分			事業区分		補 助 金	開始	経過年数	:	予定年度 (見直し年	R5	年度
補助率						法定受託事	事務		その他	年度	30	年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野〔	〔 3楽しみを』	広げる(創造力))	関連する	県の計画等	r)	1
における位置付け	政 策 〔	〔 9100年	こ一度のまちづくり)		ボツ川凹寸	l						ر	
[解決すべき問題・課題	直]														
福井空港の利活用促	進														
[事業目的]															
空港の役割を広報啓	発し、空港へ <i>の</i>)理解を深める。													
② 機体展示、デ	ベント開催 画コンクール モンストレーシ びヘリコプター														
 [受益者]						[想定され	 ん受益者数]								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事 (実績)	業名					業の有無・ 割分担	□ 有(役割		≩業名					
市町との連携状況						他県	の状況	富山県石川県	! 小松空	港「空の	港「空のE 日」フェス 空の日」フ	くタ			

空港振興委託事業(スカイフェス)

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	土木部	副	果名	港	湾空港課		課長名	高野	政志
事業主	事業主体 県						■自	治事		■ 実行	予算	事業	H4	年度	事業終了			
事業実施方法		負担金					事 務 区 分			事業区分	□補	助金	開始	経過年数	:	予定年度 (見直し年		年度
補助率		0						│ □ 法定	受託事		ロそ	の他	年度	30	年	度)		
区分	区分 事業費		国庫		起債		その他		一般財源			国庫、その他財源の名称等						
予算額	予算額 4,00								4, 000									
[予算額の推	移等]								_								(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	度 30年度 令和元年原		2 年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
<u>≅</u>	前 初 予 算	額の推	移			4, 000		4, 000										
2 月	月現 計 予	算額の	推移			4, 000			H 2 2 よ	り隔年開催((H30は	国体と開	催期間:	が被るため	開催見	見送り)		
	決 算 額	の推移				4, 000												
主な増減 上 に成果指標等																		
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	口元年度 2年度 3年		中間目標	最終目標	標 目標・指標の考え方・積算根拠			積算根拠				
成果指標	来客数(单	単位;人)	(目標) 実績			(10, 000) 8, 000		(10, 000)										
活動指標			(目標) 実績															
[事業の評価	<u>i]</u>	並左曲	の中値				中生土政	+ = + △	の左曲の	*= L				#	業評価	=		
前年度の実績 					実績を踏まえた令和3年度の変更点								#	¥¥¥₩				
									10 1 200 5	发史品								
										<u> </u>		拡充				終期の見直し	見直	し額
										发史品		拡充					見直	し額 <u></u>